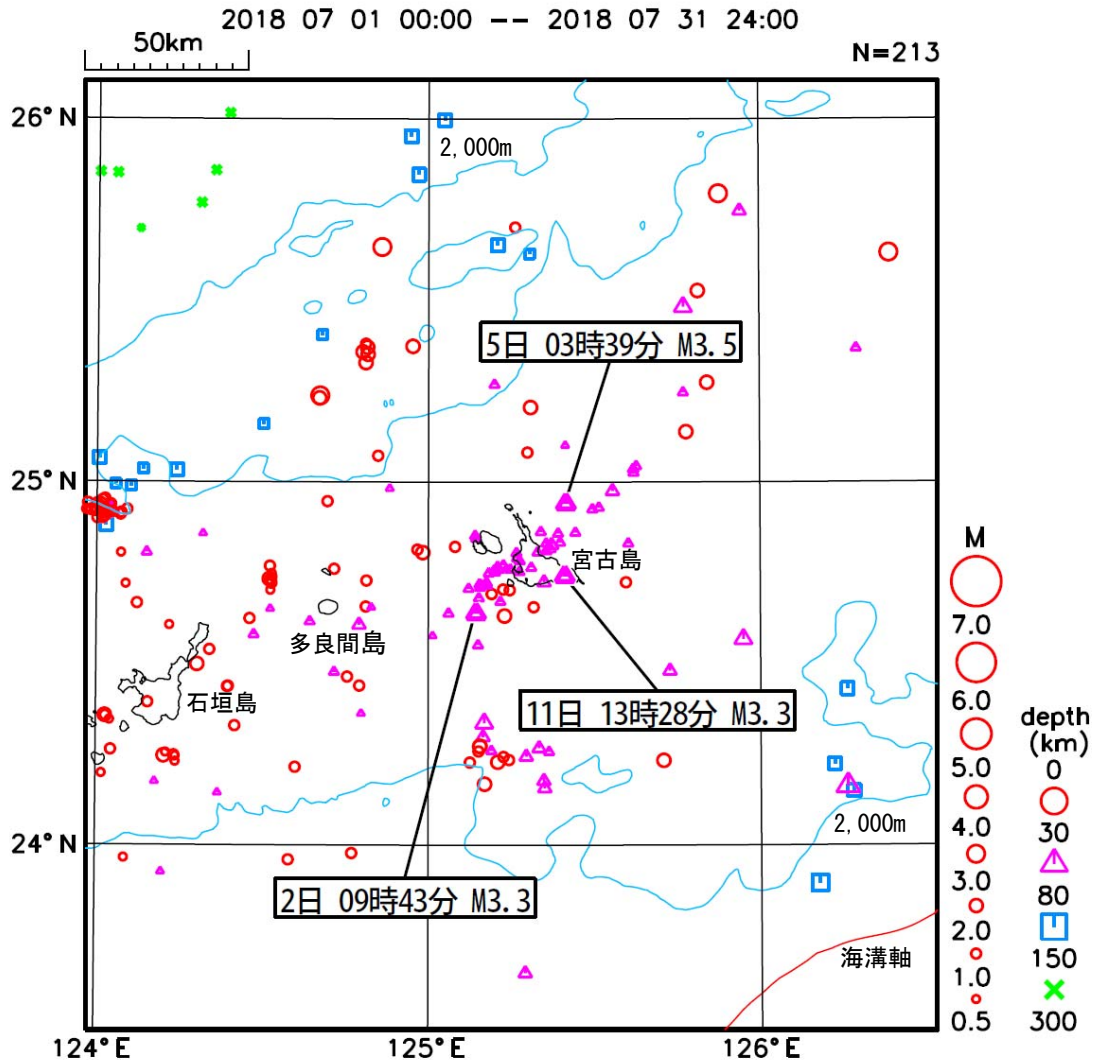


宮古島地方の地震活動図

2018年（平成30年）7月

宮古島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数 (マグニチュード0.5以上の回数です。)
管内で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、宮古島地方で観測した地震は213回（6月280回）で、震度1以上を観測した地震は3回（6月4回）でした。

2日09時43分に宮古島近海（宮古島の南西約20km）で発生した地震（M3.3、深さ34km）により、宮古島市伊良部で最大震度1を観測しました。

5日03時39分に宮古島近海（宮古島の北東約20km）で発生した地震（M3.5、深さ55km）により、宮古島市城辺で最大震度1を観測しました。

11日13時28分に宮古島近海で発生した地震（M3.3、深さ46km）宮古島市下地で最大震度1を観測しました。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:7月1日~31日)

| 震源時 各地の震度 | 震央地名 | 緯度 | 経度 | 深さ | 規模 |
|---|-------|-------------|--------------|------|------|
| 2018年07月02日09時43分 沖縄県 震度 1 : 宮古島市伊良部国仲, 宮古島市伊良部長浜* | 宮古島近海 | 24° 38.2' N | 125° 08.6' E | 34km | M3.3 |
| 2018年07月05日03時39分 沖縄県 震度 1 : 宮古島市城辺福北 | 宮古島近海 | 24° 56.4' N | 125° 24.8' E | 55km | M3.5 |
| 2018年07月11日13時28分 沖縄県 震度 1 : 宮古島市下地* | 宮古島近海 | 24° 44.4' N | 125° 24.6' E | 46km | M3.3 |

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

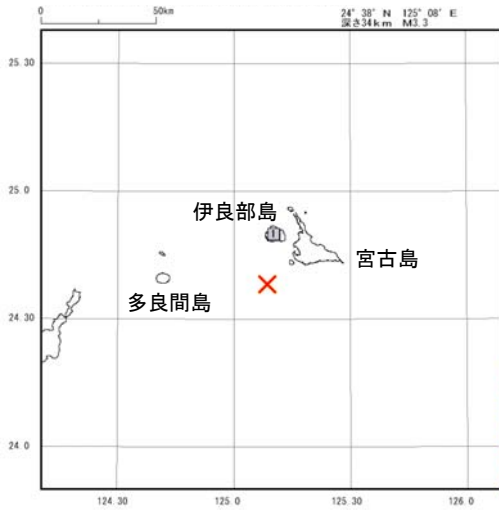
※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震緊急観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

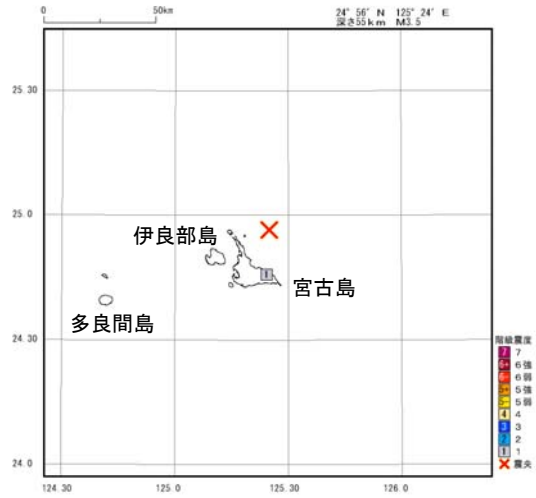
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

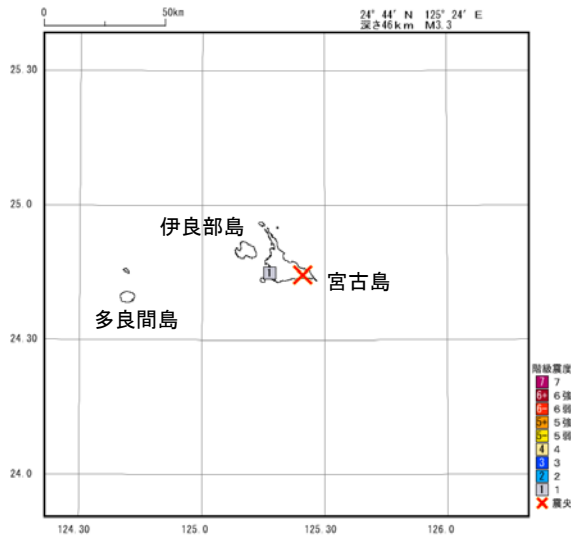
2018年7月2日09時43分 宮古島近海の地震の震度分布図



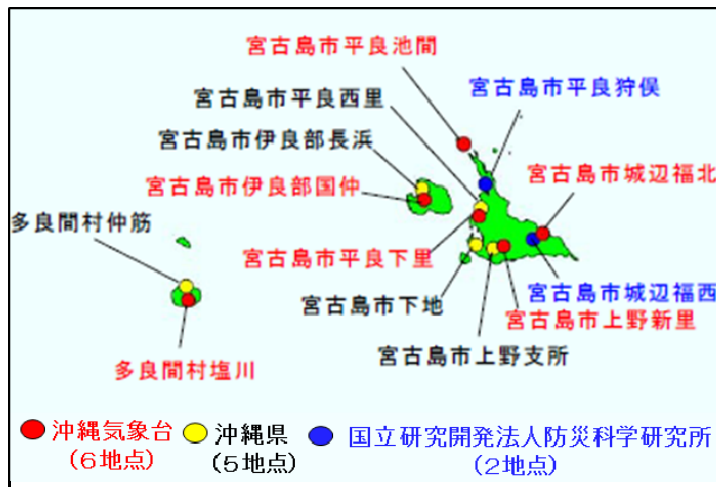
2018年7月5日03時39分 宮古島近海の地震の震度分布図



2018年7月11日13時28分 宮古島近海の地震の震度分布図



宮古島地方の震度観測地点



過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

URL <https://www.jma-net.go.jp/miyako/katsudo/katsudo.htm>

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054

(地震・津波に関する出前講座を実施しています。)



「防災の日」と「防災週間」について ～防災訓練に参加しよう！～

私たちの住む日本は、豊かな自然に恵まれています。しかしその一方で、時に私たちに容赦なく襲いかかり、甚大な災害をもたらします。

9月1日は、「防災の日」です。また、「防災の日」を含む1週間は「防災週間」です。これは、1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災にちなんだもので、また、例年台風の襲来が多い時期でもあることから、1960年（昭和35年）に制定されました。地震や風水害等に対する心構えを育成し、「災害への備えを怠らないように」との戒めも込められています。

「防災の日」や「防災週間」では、全国各地の自治体などで防災訓練が行われます。地震や津波等の自然災害は、いつ襲ってくるか分かりません。いざという時に適切な行動をとるためには、**日頃からの訓練が重要です**。地域などの防災訓練に積極的に参加しましょう。

また、家庭や職場などで防災について話し合っはいかがでしょうか。いざという時の避難場所や避難経路、連絡方法などを確認しておくことが大切です。

地震や津波への備え



食料・飲料などの非常用品の備蓄



避難場所や避難経路の事前確認



地震発生時の対応

不意の地震や津波にも対応できるように、日頃からの「備え」と「訓練」が大切です！

- ✓ 家具を固定して倒れないようにしましょう！
- ✓ 食料・飲料や非常用品などを備蓄しましょう！
- ✓ 避難場所や避難経路などを家族で話し合っておきましょう！
- ✓ 地域の防災訓練等に参加し、正しい防災知識を身につけましょう！